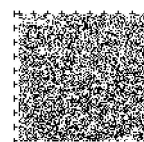


1-11 障害者の権利

まとめ

- 障害者の権利を守るために充実させるべきこととしては、あらゆる差別がなくなることが全体の4割強、自分のことは自分で決められることが3割強。精神障害・難病のかたは、誰にでも平等に機会があることも重視。
- 障害者虐待防止センターは、全体の8割強が知らなかったと回答。難病のかたでは9割以上が知らなかったという結果。
- 虐待された経験は、全体の7割強がない、2割弱があると回答。精神障害のかたは、5割弱があると回答。
- 障害を理由とした差別については、あまり感じない・全く感じないを合わせ、感じないが全体の6割強。精神障害のかたの3割強、障害児の2割強は時々感じると回答。
- 差別を感じる場面としては、公共施設・交通機関の利用時、働きたいとき・働いているときが多いが、聴覚・音声・言語・そしゃく機能の障害のかたなどはコミュニケーションをとりたいときも多い。
- 成年後見制度は、全体では利用する予定はないが4割強と多いが、知的障害のかたの2割強、精神障害のかたの2割弱は利用意向がある、もしくはすでに利用している。
- 選挙には毎回行くかたが全体の5割強。知的障害のかたは行っていないかたが多く、ほとんど行かない・行っていないを合わせると3割強が行っていないと回答。
- 選挙に行かない理由は関心がないが多いが、知的障害のかたは自分で記入することができないが最も大きな理由。



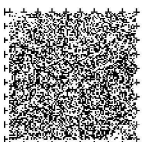
問 今後、障害者の権利を守るために、特に充実させるべき内容はどれですか。(複数回答可)

調査対象： 身体 知的 精神 難病

- 全体では、1,835 件のうち、「あらゆる障害に対する差別がなくなること」が 43.9%と最も多く、次いで「自分のことは自分で決められること」が 32.3%となっています。
- 身体障害のかたは、1,161 件のうち、「あらゆる障害に対する差別がなくなること」が 43.2%と最も多く、次いで「自分のことは自分で決められること」が 34.5%となっています。
- 知的障害のかたは、272 件のうち、「あらゆる障害に対する差別がなくなること」が 44.1%と最も多く、次いで「希望する施設やサービスの利用が可能であること」が 26.8%となっています。
- 精神障害のかたは、191 件のうち、「あらゆる障害に対する差別がなくなること」が 48.7%と最も多く、次いで「障害者自身の能力が認められること」が 41.9%となっています。
- 難病のかたは、211 件のうち、「あらゆる障害に対する差別がなくなること」が 43.1%と最も多く、次いで「誰にでも平等に機会があること」が 37.0%となっています。

		全 体	障害者の権利を守るために必要なこと						
			自分のことは自分で決められること	あらゆる障害に対する差別がなくなること	多様な活動に参加し、社会に受け入れられること	障害の違いを互いに認め合えること	誰にでも平等に機会があること	希望する施設やサービスの利用が可能であること	
全 体	件	1835	592	806	353	415	546	555	
	%	100.0	32.3	43.9	19.2	22.6	29.8	30.2	
調 査 票 種 別	身体(計)	件	1161	401	502	209	251	344	370
		%	100.0	34.5	43.2	18.0	21.6	29.6	31.9
	視覚障害	件	90	41	42	22	14	26	30
		%	100.0	45.6	46.7	24.1	15.6	28.9	33.3
	聴覚障害	件	93	27	48	20	22	28	33
		%	100.0	29.0	51.6	21.5	23.7	30.1	35.5
	平衡機能障害	件	21	8	6	1	4	4	11
		%	100.0	38.1	28.6	4.8	19.0	19.0	52.4
	音声・言語・そしゃく機能の障害	件	19	5	8	-	7	6	3
		%	100.0	26.3	42.1	-	36.8	31.6	15.8
	肢体不自由	件	484	161	220	98	100	139	178
		%	100.0	33.3	45.5	20.2	20.7	28.7	36.8
	内部障害	件	324	128	142	52	89	122	88
	%	100.0	39.5	43.8	16.0	27.5	37.7	27.2	
知的	件	272	72	120	54	63	55	73	
	%	100.0	26.5	44.1	19.9	23.2	20.2	26.8	
精神	件	191	59	93	43	40	69	41	
	%	100.0	30.9	48.7	22.5	20.9	36.1	21.5	
難病	件	211	60	91	47	61	78	71	
	%	100.0	28.4	43.1	22.3	28.9	37.0	33.6	

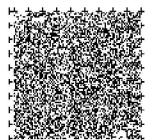
【次ページへ続く】



【前ページから続く】

		全 体	障害者の権利を守るために必要なこと				
			障害者の性別にかかわらず、平等であること	障害者自身の能力が認められること	その他	不明・無回答	
全 体	件	1835	206	411	37	253	
	%	100.0	11.2	22.4	2.0	13.8	
調査票種別	身体(計)	件	1161	132	231	22	156
		%	100.0	11.4	19.9	1.9	13.4
	視覚障害	件	90	5	21	4	9
		%	100.0	5.6	23.3	4.4	10.0
	聴覚障害	件	93	13	20	4	6
		%	100.0	14.0	21.5	4.3	6.5
	平衡機能障害	件	21	4	2	-	4
		%	100.0	19.0	9.5	-	19.0
	音声・言語・そしゃく機能の障害	件	19	4	2	1	4
		%	100.0	21.1	10.5	5.3	21.1
	肢体不自由	件	484	51	112	6	52
		%	100.0	10.5	23.1	1.2	10.7
	内部障害	件	324	42	62	4	28
		%	100.0	13.0	19.1	1.2	8.6
知的	件	272	21	54	4	63	
	%	100.0	7.7	19.9	1.5	23.2	
精神	件	191	29	80	8	15	
	%	100.0	15.2	41.9	4.2	7.9	
難病	件	211	24	46	3	19	
	%	100.0	11.4	21.8	1.4	9.0	

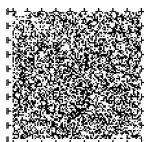
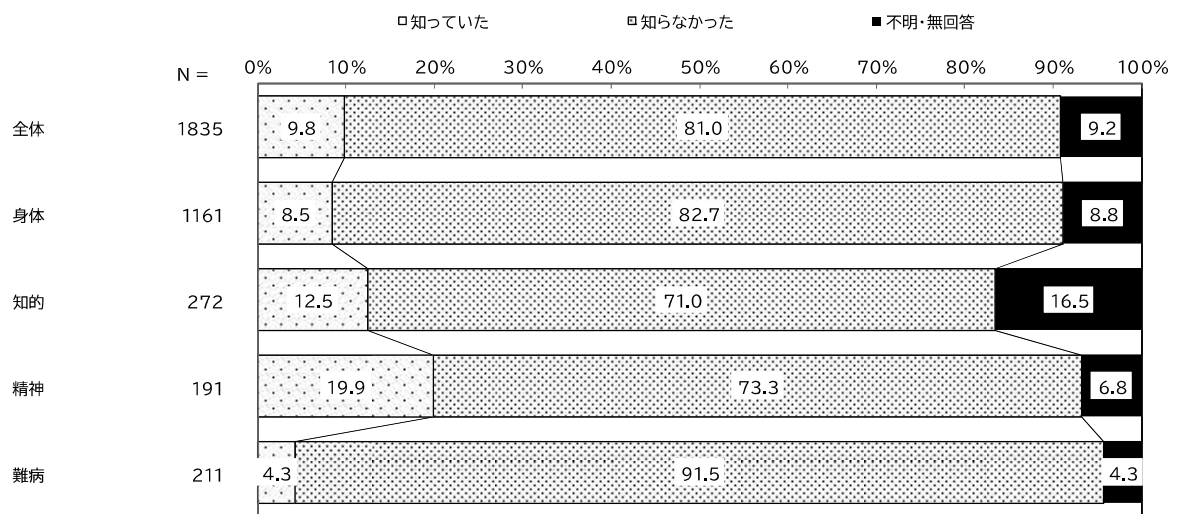
※複数回答形式の設問のため、各選択肢の回答比率の合計は100%を超える値となります。



問 豊島区は、障害者虐待に関する通報や相談の窓口として、豊島区障害者虐待防止センターを設置しています。あなたは、障害者虐待防止センターを知っていますか。

調査対象： 身体 知的 精神 難病

- 全体では、1,835 件のうち、「知らなかった」が 81.0%、「知っていた」が 9.8%となっています。
- 身体障害のかたは、1,161 件のうち、「知らなかった」が 82.7%、「知っていた」が 8.5%となっています。
- 知的障害のかたは、272 件のうち、「知らなかった」が 71.0%、「知っていた」が 12.5%となっています。
- 精神障害のかたは、191 件のうち、「知らなかった」が 73.3%、「知っていた」が 19.9%となっています。
- 難病のかたは、211 件のうち、「知らなかった」が 91.5%、「知っていた」が 4.3%となっています。



問 あなたは、いままでに自分の体や心を繰り返し傷つけられた（虐待された）ことがありますか。

調査対象：

身体

知的

精神

難病

○全体では、1,835 件のうち、「ない」が 71.9%、「ある」が 17.7%となっています。

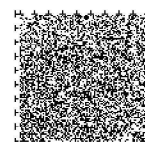
○身体障害のかたは、1,161 件のうち、「ない」が 76.7%、「ある」が 12.8%となっています。

○知的障害のかたは、272 件のうち、「ない」が 63.2%、「ある」が 19.9%となっています。

○精神障害のかたは、191 件のうち、「ある」が 48.7%、「ない」が 44.0%となっています。

○難病のかたは、211 件のうち、「ない」が 82.0%、「ある」が 13.3%となっています。

		全 体	虐待された経験			
			ある	ない	不明・無回答	
全 体	件	1835	324	1320	191	
	%	100.0	17.7	71.9	10.4	
調 査 票 種 別	身体(計)	件	1161	149	891	121
		%	100.0	12.8	76.7	10.4
	視覚障害	件	90	13	72	5
		%	100.0	14.4	80.0	5.6
	聴覚障害	件	93	15	70	8
		%	100.0	16.1	75.3	8.6
	平衡機能障害	件	21	2	17	2
		%	100.0	9.5	81.0	9.5
	音声・言語・そしゃく機能の障害	件	19	2	15	2
		%	100.0	10.5	78.9	10.5
	肢体不自由	件	484	74	376	34
		%	100.0	15.3	77.7	7.0
	内部障害	件	324	35	272	17
	%	100.0	10.8	84.0	5.2	
知的	件	272	54	172	46	
	%	100.0	19.9	63.2	16.9	
精神	件	191	93	84	14	
	%	100.0	48.7	44.0	7.3	
難病	件	211	28	173	10	
	%	100.0	13.3	82.0	4.7	



問 平成 28 年 4 月に障害者差別解消法が施行されましたが、あなたは障害を理由とした自身への差別を感じることはありますか。

調査対象：

身体

知的

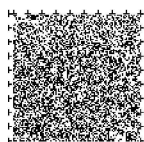
精神

難病

児童

- 全体では、2,140 件のうち、「あまり感じない」が 42.7%と最も多く、次いで「全く感じない」が 20.5%となっています。
- 身体障害のかたは、1,161 件のうち、「あまり感じない」が 42.4%と最も多く、次いで「全く感じない」が 22.7%となっています。
- 知的障害のかたは、272 件のうち、「あまり感じない」が 36.8%と最も多く、次いで「時々感じる」が 16.9%となっています。
- 精神障害のかたは、191 件のうち、「あまり感じない」が 38.2%と最も多く、次いで「時々感じる」が 32.5%となっています。
- 難病のかたは、211 件のうち、「全く感じない」が 44.5%と最も多く、次いで「あまり感じない」が 39.3%となっています。
- 障害児は、305 件のうち、「あまり感じない」が 54.1%と最も多く、次いで「時々感じる」が 23.3%となっています。

		全体	障害を理由とした自身への差別					
			よく感じる	時々感じる	あまり感じない	全く感じない	不明・無回答	
全体	件	2140	151	413	913	439	224	
	%	100.0	7.1	19.3	42.7	20.5	10.5	
調査票種別	身体(計)	件	1161	69	216	492	263	121
		%	100.0	5.9	18.6	42.4	22.7	10.4
	視覚障害	件	90	6	24	37	18	5
		%	100.0	6.7	26.7	41.1	20.0	5.6
	聴覚障害	件	93	9	27	42	11	4
		%	100.0	9.7	29.0	45.2	11.8	4.3
	平衡機能障害	件	21	1	3	11	5	1
		%	100.0	4.8	14.3	52.4	23.8	4.8
	音声・言語・そしゃく機能の障害	件	19	2	2	7	6	2
		%	100.0	10.5	10.5	36.8	31.6	10.5
	肢体不自由	件	484	38	109	215	86	36
		%	100.0	7.9	22.5	44.4	17.8	7.4
	内部障害	件	324	14	36	142	111	21
		%	100.0	4.3	11.1	43.8	34.3	6.5
知的	件	272	28	46	100	43	55	
	%	100.0	10.3	16.9	36.8	15.8	20.2	
精神	件	191	22	62	73	19	15	
	%	100.0	11.5	32.5	38.2	9.9	7.9	
難病	件	211	4	18	83	94	12	
	%	100.0	1.9	8.5	39.3	44.5	5.7	
障害児	件	305	28	71	165	20	21	
	%	100.0	9.2	23.3	54.1	6.6	6.9	



一 経年変化

		全 体		障害を理由とした自身への差別						
				よく感じる			時々感じる			
		令和元年度	令和4年度	令和元年度	令和4年度	前回比	令和元年度	令和4年度	前回比	
全 体	件 %	1,638 100.0	2140 100.0	131 8.0	151 7.1	-11.2%	409 25.0	413 19.3	-22.7%	
調 査 票 種 別	身体(計)	件 %	850 100.0	1161 100.0	65 7.6	69 5.9	-22.8%	214 25.2	216 18.6	-26.1%
	視覚障害	件 %	61 100.0	90 100.0	10 16.4	6 6.7	-59.1%	20 32.8	24 26.7	-18.6%
	聴覚障害	件 %	67 100.0	93 100.0	5 7.5	9 9.7	30.0%	25 37.3	27 29.0	-22.3%
	平衡機能障害	件 %	13 100.0	21 100.0	1 7.7	1 4.8	-37.6%	3 23.1	3 14.3	-38.0%
	音声・言語・そ しゃく機能の障害	件 %	22 100.0	19 100.0	2 9.1	2 10.5	15.5%	5 22.7	2 10.5	-53.8%
	肢体不自由	件 %	374 100.0	484 100.0	31 8.3	38 7.9	-4.7%	105 28.1	109 22.5	-19.9%
	内部障害	件 %	269 100.0	324 100.0	13 4.8	14 4.3	-11.0%	50 18.6	36 11.1	-40.3%
	知的	件 %	236 100.0	272 100.0	17 7.2	28 10.3	43.0%	61 25.8	46 16.9	-34.6%
	精神	件 %	183 100.0	191 100.0	28 15.3	22 11.5	-24.8%	50 27.3	62 32.5	19.0%
	難病	件 %	369 100.0	211 100.0	21 5.7	4 1.9	-66.6%	84 22.8	18 8.5	-62.7%
	障害児	件 %		305 100.0		28 9.2			71 23.3	

【下表へ続く】

		全 体		障害を理由とした自身への差別						
				あまり感じない			全く感じない			
		令和元年度	令和4年度	令和元年度	令和4年度	前回比	令和元年度	令和4年度	前回比	
全 体	件 %	1,638 100.0	2140 100.0	755 46.1	913 42.7	-7.4%	198 12.1	439 20.5	69.6%	
調 査 票 種 別	身体(計)	件 %	850 100.0	1161 100.0	402 47.3	492 42.4	-10.3%	100 11.8	263 22.7	93.0%
	視覚障害	件 %	61 100.0	90 100.0	24 39.3	37 41.1	4.5%	5 8.2	18 20.0	144.0%
	聴覚障害	件 %	67 100.0	93 100.0	23 34.3	42 45.2	31.7%	4 6.0	11 11.8	97.7%
	平衡機能障害	件 %	13 100.0	21 100.0	5 38.5	11 52.4	36.2%	2 15.4	5 23.8	54.7%
	音声・言語・そ しゃく機能の障害	件 %	22 100.0	19 100.0	10 45.5	7 36.8	-19.0%	3 13.6	6 31.6	131.7%
	肢体不自由	件 %	374 100.0	484 100.0	172 46.0	215 44.4	-3.5%	41 11.0	86 17.8	62.4%
	内部障害	件 %	269 100.0	324 100.0	149 55.4	142 43.8	-20.9%	42 15.6	111 34.3	119.7%
	知的	件 %	236 100.0	272 100.0	106 44.9	100 36.8	-18.1%	21 8.9	43 15.8	77.6%
	精神	件 %	183 100.0	191 100.0	70 38.3	73 38.2	-0.1%	22 12.0	19 9.9	-17.7%
	難病	件 %	369 100.0	211 100.0	177 48.0	83 39.3	-18.1%	55 14.9	94 44.5	198.6%
	障害児	件 %		305 100.0		165 54.1			20 6.6	

【次ページへ続く】

